

保育所児童保育要録

ふりがな				性別		生年月日	
氏名						年 月 日生	
保育の過程と子どもの育ちに関する事項							
最終年度の重点				個人の重点			
最終年度に至るまでの育ちに関する事項（保育歴・成長歴・家庭の状況・子どもの健康状態等）							
項目		保育士が行ってきた援助や関わりの視点				子どもの育ち・保育士の援助等	
養 護	生命の保持	<ul style="list-style-type: none"> ・快適に生活できるようにする。 ・健康で安全に過ごせるようにする。 ・生理的欲求が、十分に満たされるようにする。 ・健康増進が、積極的に図られるようにする。 					
	情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・安定感を持って過ごせるようにする。 ・自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ・周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。 ・心身の疲れが癒されるようにする。 					
項目		子どもの発達を捉える視点				子どもの育ち・保育士の援助等	
教 育	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ・自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。 					
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ・身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。 ・社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。 					
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。 ・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ・身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。 					
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育士や友達と心を通わせる。 					
	表現	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。 					

※最終年度の重点：年度当初に、全体的な計画に基づき長期の見通しとして設定したものを記入すること。

※個人の重点：1年間を振り返って、子どもの指導について、特に重視してきた点を記入すること。

※養護：子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わり。

※教育：子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助。

特に、小学校における子どもの指導に生かされるよう、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活用して子どもに育まれる資質・能力を捉え、指導の過程と育ちつつある姿をわかりやすく記入するように留意すること。

また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が到達すべき目標ではないことに留意し、項目別に子どもの育ちつつある姿を記入するのではなく、全体的、総合的に捉えて記入すること。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿				
ア) 健康な心と体	イ) 自立心	ウ) 協同性	エ) 道徳性・規範意識芽生え	オ) 社会生活との関わり
カ) 思考力の芽生え	キ) 自然との関わり・生命尊重	ク) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	ケ) 言葉による伝え合い	コ) 豊かな感性と表現

※子どもの最善の利益を踏まえ、個人情報保護に留意し、適切に取り扱うこと。